



とよおか

第 21 号

平成15年11月14日

議会だより

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/ユニプリント(株)



保育所運動会より

9月定例会

9月定例会の様子	2～3
決算・補正予算審議の様子	4～5
合併関係	6～7
一般質問の様子	8～15
委員会だより	16～17
私の一言、私ががんばってます、編集後記	18



この議会だよりは、再生紙シュールコートを使用しています



松くい虫対策の決め手となるか

私達の税金の行方

(14年度決算認定)

南保育所の大規模改修など

平成十五年第三回定例会が九月四日から二十四日までの会期中、十四年度決算認定と十五年度一般会計他、四つの特別会計補正予算、人事案で教育委員の任命などを審議した。

◆一般会計

十四年度歳入決算額三十八億八千六百五十一万九千三百二十六円。歳出決算三十四億二千二百九十八万七千五百七十七円。

歳入では地方交付税が前年対比八・四％減十七億七千六百八十二万七千円。村税は〇・一％増の五億六千八百六十二万九千円であった。

歳出について議会費は厳しい財政事情の中、議院歳費年額二％自主的に削減した。総務費の中で嘱託職員が二十二名と大幅増員に対する懸念の意見がだされた。

庁舎管理費についても保守点検料に多額の金額を要しているが電気料についてはデマンド機の導入により節電対策がとられている。新しい取り組みとして

SBCテレビ「みせてみせませす豊丘村」の番組を放送しました。企画費の報酬では第四次振興計画策定委員会三十六回延べ六百人分、二百三十万円の支出した。消防費では役場駐車場に

防火水槽ができた。

保育所費は南保育所の大規模改修により大幅増となった。又意見として民間委託は検討しているかとの質問に職員間で検討しているがまだ先のことと考えているとの事でした。

保健衛生関係では一般廃棄物処分場実施設計と本体工事に着手した。又、新たに紙製容器、廃プラの収集処分も行った。

ごみ収集庫も九基を設置した事で全村設置が完了した。農林関係は有害鳥獣対策としての捕獲頭数はイノシシ百二十三頭、シカ百六十一頭、サル五頭、計二百八十九頭と大幅に増えています。報償金はイノシシ一頭三万円が猟期間中に限り一万五千円に減額されました。

松くい虫対策は空中散布の取り組みがされた。路側樹林帯整備事業は佐原線でも実施され日陰地解消につながった。商工費関係では今まで実施してきた共通商品券の事業は本年度をもって終了した。

土木費関係は竜東一貫道の他

弁あり。

消防関係では独身団員の交流事業の実施に伴い、その一部を分団維持交付金として三十万円。企画内容は団員が自主的に立案し実施する半額補助。

「国民健康保険特別会計」

退職被保険者の療養給付費大幅な増加にもない当初予算に不足が生じるので月額六百三十万円見込みで保険給付費枠を確保しようとするものです。

「介護保険特別会計」

新たに設けられた訪問調査員二名分の賃金百万円。啓蒙資料作成の印刷製本費百万円他、総額一千四十九万三千円。

「簡易水道特別会計」

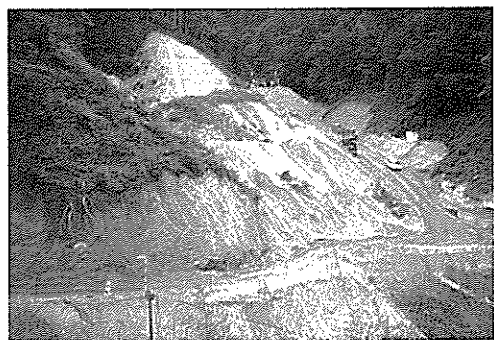
工事請負費で木門地区に六十㎡の貯水槽を増設八百四十万円長沢水源のこり対策工事三百十五万円他。総額三千四百八十二万九千円追加。

「下水道特別会計」

下水道施設管理費委託料三百二十万四千円と三百七十六万二千円を予備費とする。汚泥量の増加に対処するため月四十トンと予測し委託費を計上した。

「教育委員会委員の任命」

豊丘村大字神福四七九ノ二片桐美鈴氏が全員一致で同意された。



建設工事が進む一般ゴミ処分場

十五年度補正予算

一般会計他国保、介護、簡水、下水道の特別会計が審議され全員一致で可決されました。

「一般会計」

議会関係で厳しい財政状況のもと議員登壇により歳費の月額



有害鳥獣は・・・

数は二千五百三人。保険給付費は昨年を五百八十万円余下回った。

これは制度改正により十四年度については療養給付費が十一月分の支出であった為。

◆老人保健医療特別会計

歳入総額八億七千七百七十二万四千円。歳出総額八億六千七百六十五万五千円。受給者は前年比一・四％増の千五百六十七人。

一人当りの医療費は一・五％増の五十九万五千二百五十五円。平成十四年十月一日から制度改正により受給者対象年齢は七十五歳に引き上げられた。

◆介護保険特別会計

歳入総額三億八千四百二十五万五千円。歳出総額三億八千三百九十八万九千九百九十九円。一号被保険者数は二千四十一人。要介護(要支援)含む認定者年度末で二百七十三人であり特に要介護四、五の認定者が前年度比二十九％増で給付費の増に影響を与えている。

◆簡易水道特別会計

歳入総額一億九千三百三十三万三千円。歳出総額一億四千九百五十七万四千円。給水世帯二千十三戸。有水率七十八・二％で

◆国民健康保険特別会計

歳入総額四億一千三百六十六万六千円。歳出総額三億六千八百九十五万四千円。被保険者

十一個所の改良工事、河川補修を行った。資材支給については申請に対して百％支給された。良い制度であり増額する考えはとの質問に各区の要望もあり検討しているとの事です。

法定外公共物(赤線、青線)の調査は十四年度で終了単価を含めた払下げの対応は来年三月の議会条例化するとの事です。

教育関係は中学校の机、イスの更新は終了、南北小学校はまだ更新中である。村内スポーツ施設の無料化したバターゴルフ場は増えているが、多目的広場は半減した。

15年度補正予算

予算特別委員会の質疑から

長沢の水源のにごり対策は川野議員 にごり対策の具体的な方法はどの様なものか。森田課長 雨が降ると各家庭に入らないようにバルブを止める。大雨の時は危険を伴う。川野議員 薬品を使って、にごりをとるのか。森田課長 薬はつかっていない。唐沢議員 ダクトが入っているのか。併用するのか。森田課長 ダクトは二つ使用している。四十七年からのので、老朽化している。中の機械が壊れているので手を入れるよりその時は新しくした方がよいのでは。



十四年度決算特別委員では、審議の結果、全会一致で原案通り可決されました。主な審議内容を紹介します。.....

勤労者福祉センター、憩の家の改修工事が完成間近
下平(豊)議員 勤労者福祉センター、憩の家の工事の進みぐあいはどうか。
伊藤課長 勤労者福祉センターは、九十%で十月から使用可能。憩の家は八十%で、十一月から使用可能の予定。
北沢議員 老人施設の二階建ては、エレベーターが義務づけられているが保守経費を考えると、平屋で対応した方がよいと思うが。

村長 今ある建物を利用しての補助事業のため、対応できないが、新規の施設では配慮していきたい。
廃棄物処分場建設の工事は困難な状態
下平(豊)議員 岩盤の状態を、細かく説明を願いたい。
森田課長 かたい岩盤の為、バックフォード、掘削できず、爆破作業をしながら作業を行う部分がある。又、硬い岩盤でも、つくような方法で、のり面のふき



広域農道 喬木村境の災害現場

独自の消防団員交流について
川野議員 具体的にどのような事をやるのか。
毛涯課長 主に独身女性との交流。村で半額の補助をする。
北沢議員 人口対策にも通じる。良い事だ。
災害復旧について
助役 喬木村との境で発生した土砂流出のため、ボーリ

石が投げ込まれているので簡単に修理をして直すという事は困難だ。仮設トイレでも設置し対応していかなければならぬ。経済建設関係土木について
北沢議員 みどり産業の移転後、松くい木を伐採するのか。
福沢課長 その事について処分場の関係で省いてある。その後は、相談して処分場の方でやりたい。
森田課長 みどり産業の移転場所については経費がかかり困難である。コンクリート等の重量のある物はそのままにしてある。家賃、借地代をいただいている。
北沢委員 予定地の所へ移転はしないのか。
森田課長 埋土が柔らかいので重たい物が入らないので、移転はしない。
唐沢議員 樹種転換は多目的広場の北側を十四年度にしたか、十五年度に体育館の所まで

ングの地質調査を行う。十二月にもう一ヶ所行っていく。
福沢課長 単に、路肩がくずれただけでなく、地すべりのなものを調査しないと査定資料ができない為に行う。費用は喬木村と豊丘村で半分づつ負担。
北沢議員 災害で直した所が、すぐやり直しをしなくてはならない所がある。結局、無駄なお金を使う事になる。きちんと対応をしてほしい。
福沢課長 制度上の問題もあり難かしいが、交渉していきたい。



14年度決算

決算特別委員会の質疑から

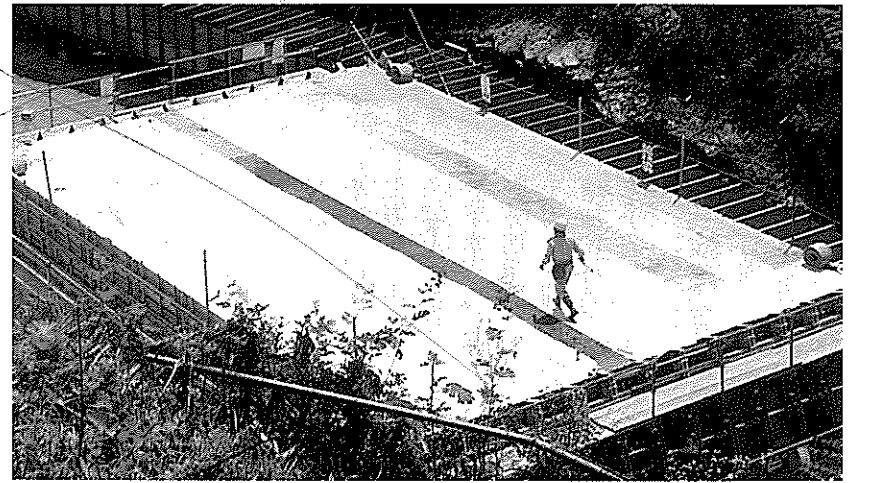


トイレ使用不可能となっているパターゴルフ場

松下事務局長 使用料が無料になってから、利用者が増えてきている。
筒井議員 パターゴルフ場のトイレは村民体育館を使用するのと看板が出ているが、体育館までは大変な事だ。使用不可能な状態とはどういう程度なのか。
北沢議員 浄化槽に大量の

か。併用するのか。森田課長 ダクトは二つ使用している。四十七年からのので、老朽化している。中の機械が壊れているので手を入れるよりその時は新しくした方がよいのでは。

石が投げ込まれているので簡単に修理をして直すという事は困難だ。仮設トイレでも設置し対応していかなければならぬ。経済建設関係土木について
北沢議員 みどり産業の移転後、松くい木を伐採するのか。
福沢課長 その事について処分場の関係で省いてある。その後は、相談して処分場の方でやりたい。
森田課長 みどり産業の移転場所については経費がかかり困難である。コンクリート等の重量のある物はそのままにしてある。家賃、借地代をいただいている。
北沢委員 予定地の所へ移転はしないのか。
森田課長 埋土が柔らかいので重たい物が入らないので、移転はしない。
唐沢議員 樹種転換は多目的広場の北側を十四年度にしたか、十五年度に体育館の所まで



処理場建設現場



福沢課長 全般です。今切っていない所は多目的広場の正面入った所である。

研究委員会解散となる 北部合併問題

下伊那北部地区の合併研究を進めてきた、北部合併問題研究委員会は、八月五日開かれた、四首長の話し合いによって「現段階での四町村の合併は無理」との結論から研究委員会も解散となった。

下伊那北部合併問題研究委員会（松川、高森、喬木、豊丘、大鹿）は、昨年七月北部議員研修会に於て、豊丘村議会の提案により、研究委員会が設置され、各町村の合併についての情報交換、北部五町村「明日のまちづくりのために」のまちづくり資料の作成などの取り組みを進め、任意合併協議会の立上げ参加などについて議論を重ねて来ました。六月喬木村が飯田市へ任意合併協議会設置を申し入れ、北部の研究会から離脱し、残った四町村でその後の研究を進め、四町村での合併協議に向けて、首長同士の話し合いを研究委員会として強く要請し、これに応えて、八月五日、四首長の話し合いが行われ、その結果「現段階では四町村の合併の研

究は無理」との結論となり、八月七日開かれた研究委員会に於て「首長会議で四町村の任意協議会設置が無理だと確認された以上、研究委員会組織の存続は役割を終えたのではないか」との結論となった。今後は共同で事務事業の研究を行う事があれば、また新たな組織で対応すればとして昨年十月から九回にわたって研究をつづけて来た北部合併研究会を解散することになった。

高森町へ事務局 段階での合併研究に

その結果喬木村が飯田市へ、大鹿村が松川町に任意協議会を申し出た事から、豊丘村の動向



高森町長より報告

が注目をされましたが、八月二十八日全員協議会に於て、村長から、隣接する高森町に、両町村が合併した場合どのような自治体が出るのか、について事務局段階での研究協議を進めるように高森町に申し入れをす

ると共に自立の道も並行して研究をしていきたい、との考えが示され、議会全員協議も了承され、翌二十九日高森町に申入れが行われた。その結果九月十一日高森町から吉川町長、三石議長が来村され、吉川町長より議会と協議の結果「共同研究は、住民に示すための資料づくりに必要と判断し、申し入れを受け入れることにした」と報告があり、現在、両町村の助役をキヤップに事務局での資料作りが始められています。

合併問題 地区懇談会

今日までの経過報告と、村民の意見を聞く、合併問題地区懇談会が、九月十九日から十月三日まで村内十二会場で開催され、出席者から活発な意見が出されました。高森町との合併を積極的に進めよ、高森町との合併が出来なかった時の対策は考えている

- あり方研究会発足
- 議会の活性化と、住民にわかりやすい議会を目指して、議会のあり方について研究を行う組織として、議会活動あり方研究会を立上げ、議会運営の方法、議員研修のあり方、チェック機能向上対策、住民に身近な議会対策、議員定数、委員会、などについて研究を行い、来年三月議会までに方向を出す事で発足をしました。委員は次の皆さんです。
- | | |
|------|------|
| 委員長 | 丸岡 茂 |
| 副委員長 | 北沢 貢 |
| 委員 | 筒井 博 |
| 委員 | 下平豊久 |
| 委員 | 前沢光昭 |
| 委員 | 唐沢啓六 |
| 委員 | 下平喜隆 |

合併問題地区懇談会

村を思う意見・提言が切々と

九月十九日より十月三日まで十二会場に於て合併問題地区懇談会が行なわれた。参加者数三百二十二人。主な意見を紹介する。

●合併しても、しなくても厳しさは変わらない。大きくなれば山間部は特に小回りが効かなくなる。民意の最終判断は住民投票でやるのか。

●高森町との合併には賛成。他と比べて中段開発が遅れている。研究してゆく中で松川へもと思う。

●懇談会でも参加者で少ないので、その意見が村民総意と取り上げられても困る。声なき声はどう取り上げてゆくのか。何かの方法で意見を取り上げて欲しい。

●高森、豊丘の合併問題について進捗状況を情報発信して欲しい。高森、豊丘の合併、頑張ってもらいたい。

●喬木村を含めた北部五ヶ町村の合併を考えていた。

●自立の資料を村民に示す必要がある。地区懇談会の回数を重

ねて欲しい。情報を公開して住民全体で勉強していくのが良い。

●合併して学校の合併はあるのか。

●現段階では誠心誠意、高森町に働きかける。高森町民の気持ちを聞く事が大切。町民は特に合併問題を意識していない。町民も自立でいこうと思っているのか。

●豊丘村と同じ様な状態の町村へ視察は行っているのか。

●合併の議決について、首長が反対、議会が賛成の場合どうなるのか。

●合併が既成事実ではない。目的でもない。住みよい地域づくりが原点。交付税が少なくなり合併しても、しなくても財政的には厳しくなる。資料で高森と豊丘を比べても、豊丘村の方が自立できる可能性がある。自立の資料を村民に示す必要がある。

●少子高齢化で大きく合併しなくてはいけない。阿智村で行なわれた自立のフォーラムの中で同盟を結んでと新聞に書かれていたがどういう事か。

●高森町との合併について、山間部の反対意見を聞きたい。デメリットの中に、地方自治が失なわれていくと言われている。高森町の中に火をつけていくかが成功の秘訣。議会は町長と同じではない。

●高森町に合併の意思を感じない。成立しなかった場合どうなるのか、ぜひ、シミュレーションして欲しい。(具体的に)

●新聞の情報は早い。村には広報係というものがあるので、進捗状況等、早い情報を流して欲しい。

●高森町は飯田市のベットタウンとして人口が増えており十五年程前より長期的に住民自治を育んできている。保育の充実も図ってきている。女性として親として、保育や学校がどうなるのか心配される。

●若い人の懇談会への参加が少ない。出にくい。若い女性は夜出にくい為、保育所、学校に足を運んで欲しい。インターネット等、気楽に意見が出せるよう

にしたらどうか。

●合併の資料は、当日配布されるのではなく、事前に配ってほしかった。考える時間を与えてもらいたかった。

●河野、神福の合併の時から、学校の一校制の問題がまだ整理されていない。負担がもっと多くなるのか。

●高森との合併について豊丘は自信を持って進めて欲しい。高森と温度差はあるが、豊丘村民の熱意を町民に伝えることが重要。区長会でも交流会を計画している。団体、友人等の交流を深め熱意を伝えていってら良い方向に進むと思う。

●松川町、大鹿と上伊那郡との合併もあるのか。

●十七年三月までには合併出来ない。豊丘のイメージは高森とはダメだと思っている。お金が無くなってから自立を選ぶべきものではない。どうせ合併するならば飯田市が良い。

●何故合併するか疑問。第四次振興計画を実行してゆけば、良い村づくりが出来るのでは。

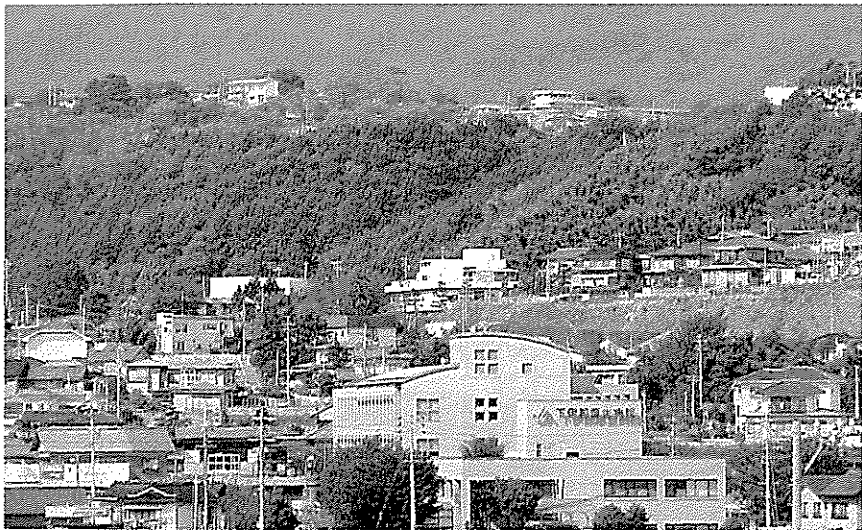
一般

あぶ川からの取水も視野にいれていると思うが、水利権取得という難問が横たわっている現状の中で、取水方法と水利権取得と併せて考えを聞きたい。

村長 ダム本体からの取水は認められない現実がある。水利権申請は地元の方々と、貯水した水を取るといふ説明のもと、理解をいただき申請してきた。県への申請の書類を作成し直す事

は、流水からの取水の申請となり、地元の方々との約束が守れない事になるので、今後県とも十分協議する中で対応を考えたい。

要望 河川改修については災害を未然に防ぎ住民の財産、生命を守る課題も行政には課せられている。芦部川の改修を早期に実施されるよう強く要望する。



対岸の高森町、町民の思いは

質 高森町とのその後の戦略は。

答 村民の意見を尊重し進めたい

下平喜隆

質問 豊丘村が申し出た合同合併研究に高森町は受け入れを表明したが、町長は自立優先の姿勢を変えたわけではない。平成十七年三月の合併特例法期限内の合併を目指している村長は高森町との任意合併協議会を立ち上げる為、どのような戦略を持っているか。具体的に示して欲しい。

村長 それぞれの組織、友人、知人の輪を広げ、合併ありきでなく財政問題も含めて研究を深めてゆきたい。特に九月九日から始まる合併懇談会で村民の意見を伺い、議会と相談する中で一つの方向性を示せると考える。

質問 私のサークル等の仲間では高森町との合併が失敗したとしても、豊丘村が選んでもいい自立に追い込まれる事だけは避けるべきだとの意見がほとんど。

質問 豊丘村が申し出た合同合併研究に高森町は受け入れを表明したが、町長は自立優先の姿勢を変えたわけではない。平成十七年三月の合併特例法期限内の合併を目指している村長は高森町との任意合併協議会を立ち上げる為、どのような戦略を持っているか。具体的に示して欲しい。

村長 現段階では高森町との合併のみを考えたい。

質問 今回の定例会で教育委員の選任がある。変化の激しい時代には若手を起用し、教育現場の声を学校運営に反映しやすくする事が得策と考えるが村長の考えを聞きたい。

村長 若い人は仕事为中心になるので選任が難しい。総合的判断が必要だ。しかし下平議員の考えも参考にして配慮したい。

要望 高森町との合併は困難かも知れない。戦略を考慮すべきだ。



濁流に洗われる芦部川の石積み

質

問



助役室での奥山助役

質 助役就任後の感想は

答 時代にあった厳しい取り組み

筒井博

質問 助役就任二ヶ月半を振り返っての感想をお聞かせ下さい。

助役 農業等と違って村の場合一日も休むことは出来ない。そういう組織であり会計のシステムも違いそれぞれ緊張感を持って、日々取り組んでおる組織だと感じております。

それから村の歴史というか歩みが資料としてきちんと、整備蓄積されている事を改めて感じました。それから役場の考え方のサイクルというのは非常に長いというか、一年後とか五年後とか長いサイクルの中でいろいろ計画され、考えられていくということ、間違いない組織だということを感じております。

質問 今後の抱負について

助役 抱負でありますが大変

財政的にも厳しい時代になっていきます。これからもより厳しい時代になると思えますが時代にあった厳しい取り組みを率先してやっていかなければならないと覚悟しております。

非常に良いものを持っている職員が多いという話を話し合いをして気付いております。そういうものをできるだけ生かせるような形に持っていきたいと思っております。

要望 今、お話しのようになかなか大変な時代でございます。特に町村合併の問題、また水道水汚染対策等、難問が山積しております。

理事者職員一体となって、豊丘村の発展と村民福祉向上のため今後共御尽力下さい。

質 治水・利水の今後の取り組みについて

答 新規水源調査は早急に

川野孝子

質問 八月八日県の治水、利水対策の方針案が示されたが、地元住民と県側にギャップがある。代替案とは別に平成十二年、芦部川下流域の住民より出され

た改修を望む陳情書が採択されているが、その後改修はどの様にされたか。

村長 平成十三年中芝地籍の堤防約二十メートルの改修。十四

年に金山地籍の堤防の根付工事等を行った。十分でないので引き続き要望してゆきたい。

質問 硝酸、亜硝酸性チッ素の汚染が進む中、飲み水に適した水源の確保は早急に取り組む課題と思うが。

村長 県ではダム関連の水源調査に五十%の補助を考えているとの事なので、来年度より手をつけてゆきたい。

質問 地下水からの取水の他に

題と思うが。

村長 県ではダム関連の水源調査に五十%の補助を考えているとの事なので、来年度より手をつけてゆきたい。

質問 地下水からの取水の他に

般

質

問



中央保育園の花火大会

質 財政硬直化の速度に懸念

答 子育て支援等雇用対策で職員増

丸岡 茂

質問 十四年度決算に示される村の財政構造の急激な悪化にイエローカードを出したい。経常収支比率は四年間で十四ポイントも上昇。県の町村平均は五・〇、近隣三町村(喬木、高森、松川)の平均は二・三の上昇。豊丘は異常に高い。これでは厳しい将来に向かい合っていけない。

一因。この財政下に雇用対策は何なのか。すでに条例の定めを大幅に超えている。

勤続三十一年、年齢五十一才、年収七百八十六万円、七級(課長)勤続三十三年、年齢五十四才、年収八百五十万円である。

尚、退職金は四級職で二十年勤続で七百七十万円三十年で千五百万円、五級二十年八百万円三十年千六百万円、六級三十年で千七百万円、七級三十年千二百六十万円、七級三十年千七百八十万円四十年

質問 豊丘村から高森町へ合併研究の申入れをしましたが、高森町では自立の資料を出し、職員の三割削減を打出していま

質問 中学校本校舎が、昭和三十二年に建設され、その後四十六年経過し、既に老朽化が進んでおります。

かつても重要課題であります。昨年度の職員七十五名の給与と手当は総額で四億二千万円でありましたが、これは今不況で苦しむ民間の給与実態とはかけ離

とつても重要課題であります。昨年度の職員七十五名の給与と手当は総額で四億二千万円でありましたが、これは今不況で苦しむ民間の給与実態とはかけ離

質 職員の給与実態と人員削減について

答 職員採用控え嘱託で対応

片桐 秀人



老朽化が進む中学校校舎

質 中学校本校舎改築は

答 十七年度着工を計画中

菅 沼 明 人

質問 中学校本校舎が、昭和三十二年に建設され、その後四十六年経過し、既に老朽化が進んでおります。

質問 中学校本校舎が、昭和三十二年に建設され、その後四十六年経過し、既に老朽化が進んでおります。



ある日の庁舎内の様子

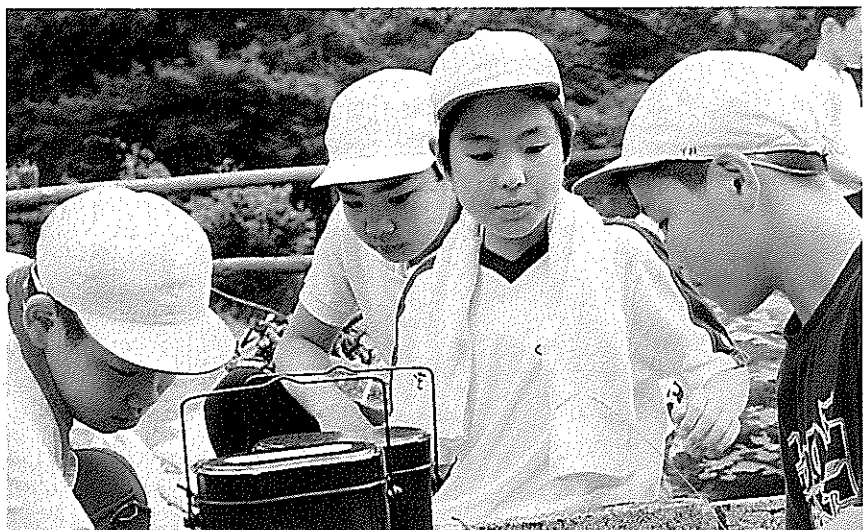
一般

うかである。また高森には高森の重要課題、優先課題がある。今回の共同研究は自立のためにおおいに生かして行つてほしい。

質問 資材支給などについて
 質問 十万円を限度に従来豊丘で行つてきた資材支給だが、村が請けて行うより場合によれば経費などではむしろ経済的、地域的には簡単なこともある。増

額など土木懇談やこれまで議会からも意見が出されてきたが、この財政難に何をいうかという意見もあるかも知れないがどう考えるか。

答弁 この事業については現在も研究中で来年度の予算に反映できるように金額についても検討して行きたい。



子供達に健全環境づくりを

質 色覚バリアフリーについて

答 今後問題も予想されるが今はなし

片桐 眞理子

質問 色覚障害とは、一般で言う、色盲、色弱の事である。文部科学省は、今年の四月から、色覚検査を廃止した。検査をなくした事により気付かないままという人もでてくる懸念もある。教育現場での問題の中に、みえにくい色のチョークがある。この事を解消する為、色覚異常対応チョークというのがあるが、これを取り入れる考えはあるか。又、現場における配慮や取り組みについてはどうか。

教育長 チョークの対応としては、みえにくい色は使わない様、配慮している。今は対策を必要とする事例はない。今後、問題が発生する事が予想されるので注意をしてみたい。

質問 長沢地区にもスクールバスを、校までが遠い子供立ちの為に、

スクールバスを運行している。様々な事情でバスが入ってこない所もある。道幅がないのがその理由である。朝の一分でも貴重な時間に母親が送り、また家に帰り仕事に出かける。特に冬の雪道を送って行くのは、大変な思いがある。登下校の時だけでも、村のマイクロバスを利用する事ができないのかどうかお尋ねしたい。山間地域でも、送迎がある所もある。格差なく、安心して住めるよう行政も力を入れていただきたい。

村長 必要性は感じている。道路の拡張工事遅々として進んでいない。今年の十月頃から、スクールバス、福祉タクシーを含めた交通対策についての委員会を立ち上げ、総合的に検討していく段階に入っている。



デジタル化の研究が進む有線施設

質

問

質 自立の共同研究とは何か 答 考え方など意見交換したい

前沢 光昭

質問 先日高森に申し入れた自立と合併の共同研究のなかで言う、自立の共同研究とはどういうことか、また自立の研究にどう生かしていくのか。関連して、

多くの村民が参加してつくった第四次振興計画だが、村長が重要課題、優先課題と思うものはないか。

答弁 前にくばった資料には自



合併問題も出された中学校模擬議会

質 高森町との合併について

答 住民の声を聞き委員会の立ち上げも

松井 尚子

質問 高森町との合併について質問します。国で言われている合併特例期限の、二〇〇五年三月までに、一年七ヶ月に迫ってまいりました。先頃高森町との合併の資料作りに向けて事務局段階の協議を申し入れに對して高森町側からの了承も得られた訳ですが、両町村が合併できるかは不透明であると思います。事務局レベルの資料作りの期限と高森にいつまでと決めてあるのかどうかお聞かせいただけます。

村長 ご案内の様に去る八月二十八日に、高森町さんの方へ出向いて、合併の資料作りを事務局レベルで共同して、ぜひ一緒にやってほしいと申し入れをしました。昨日、町長、議長さんお二人に豊丘の方へおいで頂き、「一緒にやりましょう」と

いう返事をいただいた。その期限については豊丘としては、できるだけ早いうちにと考えております。

質問 時限立法までに合併するには、来年の三月までには高森町との合併か、自立かを決定するのが最善だと思います。それについては、部落懇談会での住民の声を聞いて判断するのか、住民投票で決定するのをお聞きしたい。

村長 住民投票という様な事も時には考える場合もあるかと思いますが、現在の場合は住民の皆さんとの懇談をしっかりと深めて合併の研究委員会、又、特別な委員会も立ち上げる事になるかと思っております。



般

「尚、合併問題での地区懇談会の資料の内容、提供の時期と懇談会後の対応についての質問と理事者の答弁は、紙面の都合上、割愛」

いと 思います。

「尚、合併問題での地区懇談会の資料の内容、提供の時期と懇談会後の対応についての質問と理事者の答弁は、紙面の都合上、割愛」

「尚、合併問題での地区懇談会の資料の内容、提供の時期と懇談会後の対応についての質問と理事者の答弁は、紙面の都合上、割愛」

か、また、合併を実現した上で各種組織レベルの交流が成否の鍵を握っている。今後どのように進めるかお聞かせください。

村長 地域懇談会を開いたりアンケートや検討委員会等を立上げる中で村民の意見を集約してまいりたいと思います。

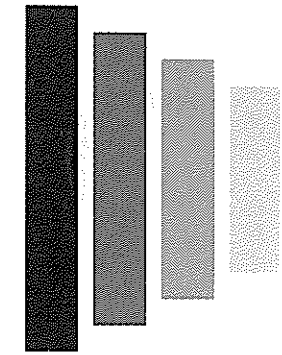
質問 民間から登用されました奥山助役に、村民は新しい視点で財政改革と活性化を進めることに大きな期待をよせている。

就任にあたっての基本的なお考えをお聞かせいただけます。

助役 議員の努めとして、批判すべきは批判し、賛成すべきは賛成するスタンスを貫いた。

村長と意見の違うところは良く協議し方向づけられた施策は当然協力していくのが助役の努めだとも思います。

幻となったダム建設予定地



堀越での合併懇談会

質 行財政運用の効率化について

答 行政評価システムの導入を

下平豊久

質問 十四年度決算に対する監査報告の中で、硬直化した財政運用と今後の起債等の在り方について、より慎重な対応を求めている意見が付されております。

村長 非常に数字的にも厳しく長期的な財政硬直化に陥らないよう、臨時あるいは嘱託で対応しするなど努力している。

行財政運用の効率化では、行政評価システムを導入し、施策の評価でその必要性・有効性・効率性について評価していく。

質問 高森町への合併研究の申入によって両町村合併の緒について、これを現実のものとしていく方策と、村民意識の集約・合意形成をどう進められるのか。

か、また、合併を実現した上で各種組織レベルの交流が成否の鍵を握っている。今後どのように進めるかお聞かせください。

村長 地域懇談会を開いたりアンケートや検討委員会等を立上げる中で村民の意見を集約してまいりたいと思います。

質問 民間から登用されました奥山助役に、村民は新しい視点で財政改革と活性化を進めることに大きな期待をよせている。

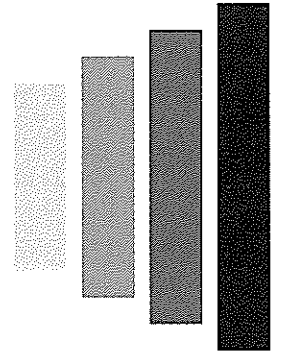
就任にあたっての基本的なお考えをお聞かせいただけます。

助役 議員の努めとして、批判すべきは批判し、賛成すべきは賛成するスタンスを貫いた。

村長と意見の違うところは良く協議し方向づけられた施策は当然協力していくのが助役の努めだとも思います。

質

問



夢のある未来づくりを

質 合併より自立の研究を第一に

答 両方の検討が必要と考える

唐沢啓六

質問 ①高森町との合併研究はどこまで踏みこんで検討するのか。

②自立を第一とする高森町長とは、特例法の期限や特例債に対する考え方も含め基本的スタンスに大きな差異があり、合併に向けた資料作りには限界がある。当村が将来財政的に自立している可能性は十分ある。高森町と同様に自立に向けての検討に力を注ぐべきと考えるが。

村長 ①任意合併協議会で検討する事項まで進めてほしい。

②両町村の良い部分を両方の地域で伸ばしていくために、新しい組み合わせでやっていくといった立場で研究していく。

質問 ①予定価格の事前公表を開始した時期と基準、ネライは何か。②十四年度の二件の大型事業で、九十九・九％という入

札経過がある。効果が十分出ているのか、今後の対策はどうか。

村長 十四年九月から三千万円以上の工事について実施している。落札率を低くするのが目的である。

総務課長 十四年度において、事前公表した場合の平均落札率が九十七・二％、事前公表しなかった比較的大きな工事での平均落札率が九十九％であり、若干でも効果があったということでも、もう少し続けることにした。

質問 県は、小学校四年生以上の三十人規模学級の実施について教員人件費の一定割合を市町村に求めている。厳しい県財政の中、父母の願いを実現するためにも市町村も協力すべきと考えるが。

村長 経費は一切県で負担すべきである。

方へ回答いただいたわけですが、進みますかと考えますが、いかがでありますか。

村長 確かにご指摘のように村としては、このダム検討委員会との答申に基づく県の方針、村の

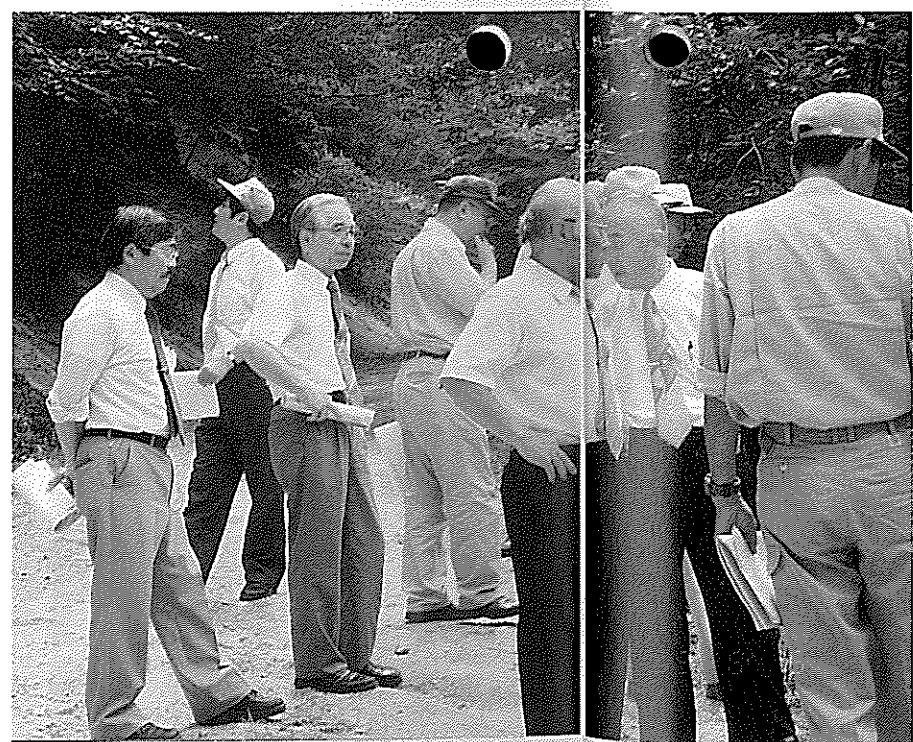
質 郷土沢ダム、けじめをつけるべき 関係者と協議の上、対処

松村正三

質問 郷土沢ダムその後について、お尋ねします。

県の治水・利水ダム等検討委員会の答申及び、それを受けての県の方針案が村にも報告され

たと思いますが、この郷土沢ダムへのひとつの区切り、けじめといったものを今、村が示し、村民に今までの経過説明を、きちんとした上で、納得を得て、



幻となったダム建設予定地

総務

多目的広場の利用検討を

II 体育施設利用状況 II

9月定例議会の総務委員会は十四年度決算審査が中心でした。村内にはいくつかの体育施設がありますがその利用状況をみてみたいと思います。

村内体育館は三万二千七百四十六人村民グラウンドは一万九百三十六人の利用があり、毎年ほぼ同じ利用状況で推移しています。

スポーツ館の利用は七千二百十五人で、中学生が四千四百人、ゲートボール二千五百人の利用状況となっております。

マレットゴルフ場では、アカ

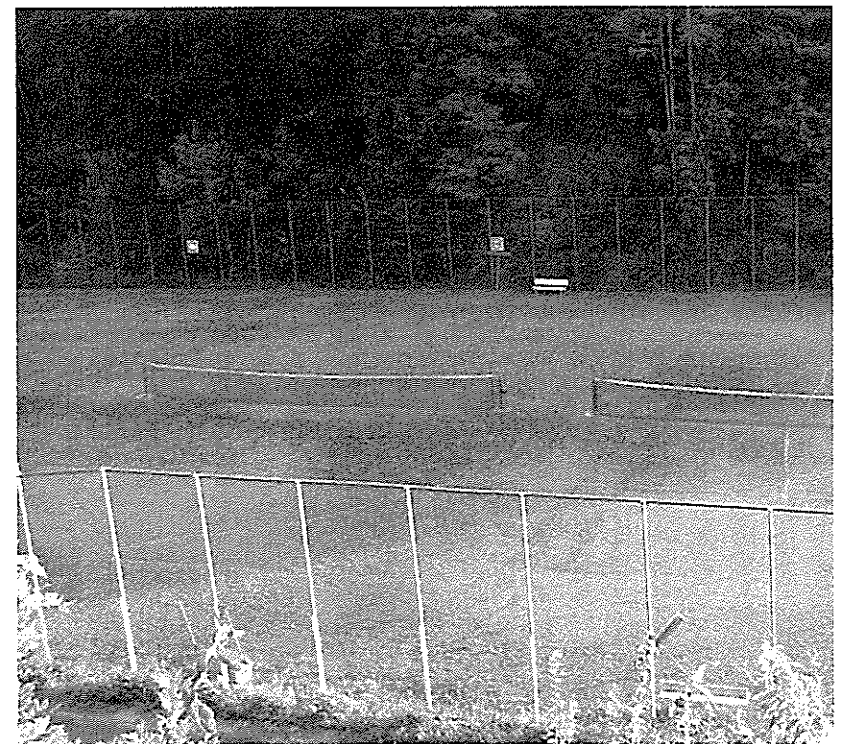
シア三千二百五十三人・水辺八十七十三人・合計四千二百二十六人が利用しました。

バタリーゴルフ場の利用は、十三年度六百七十八人だったのが、十四年度は九百二十七人で、無料化の影響によるものとみられる利用者の増加がありました。

それに比べ、多目的広場のテニスコート利用者が四十人、ゲートボール場の利用者は一人も有りませんでした。以前から多目的広場は懸案事項でしたがいよいよ解決が迫られる利用状況となっております。

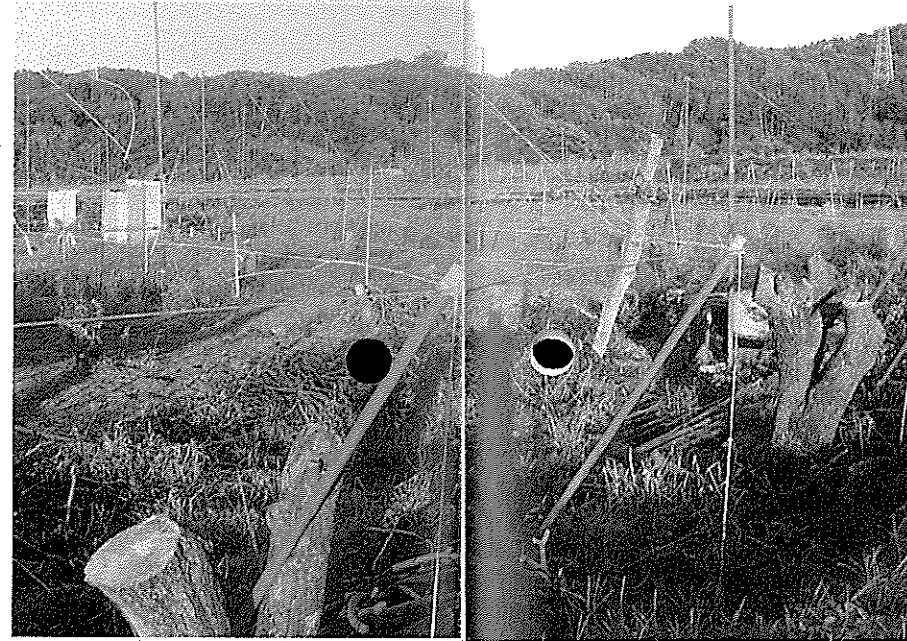
一方利用者増があったバタリーゴルフ場のトイレが、便槽に大量の石が投げ込まれるという心ない行為によって使用出来ない事態となっております。

総務委員長 下平豊久



利用者が増えない多目的広場

委員会だより



増え続ける荒地

遊休荒廃化

策委員会発足 =

近年農地の遊休荒廃化が急速に進んでいます。最近の調査によると、村内耕地の十八%、百七十ha程が遊休地化しています。

高齢化による労働力不足、土地条件が悪い等の原因が多い中で、最近では鳥獣被害の多発で耕作放棄となるケースが目立っています。

こうした中で、昨年度JA、

農業委員会、議会の三者で構成する懇談会で農地の保全対策を研究する委員会を立ち上げるよう村に要望されました。この要望をうけて、七月三十日に第一回の委員会(片桐義憲会長以下十名)が開催されました。

任期は二年で、月一、二回会議を開催して有効な対策を検討していきますが、実施に移せる対策は随時村長に提言していく

社会

自主財源に対し

II 人件費・公債費支出増加 II

決算審査の中から

昨年度の経常収支比率は七二・五となり、二〇一二年に上昇し続けています。この比率は七五%以内が適当とされていますが、この上昇要因の多くは社会分科会の担当の中にあり、そのいくつかを拾って見ますと、

育料徴収額は四千万円、国県負担額は三千二百万円、村費負担は一億四百万円で前年比百十二%、金額で千百万円の増加となっております。

園児数二百十四名で単純計算で一人月額七万円弱となりま

◎福祉医療費 老人障害者児童などの医療費の中で、小学六年生までの医療費の村単独支出額は七百四十万円となっております。

経常収支比率の上昇について、今、村で進めている子育て支援の面から上昇要因のいくつかを見ましたが、この比率の是非はそれぞれの観点があります

◎保育所経費 昨年保育料の引下げを行い、近隣町村で一番低くなっています。子育て支援として未満児保育、延長保育等で臨時職員が増加しており、総額一億七千七百万円の内人件費は一億四千四百万円、保

◎児童クラブ運営費 総額千二百三十七万円、内運営委託料九百三十二万円で、一人当り単価は近隣町村の中では一番高くなっています。内、国の補助金二百六十八万円、保護者からの徴収金七十八万円で村費負担額は九百万円弱となっております。

◎福祉医療費 老人障害者児童などの医療費の中で、小学六年生までの医療費の村単独支出額は七百四十万円となっております。

経常収支比率の上昇について、今、村で進めている子育て支援の面から上昇要因のいくつかを見ましたが、この比率の是非はそれぞれの観点があります

が、昨年度の決算の認定の分科会としてはと致しましたが、これらの数字から、今、村が抱える課題と村政の方向を考える一助となればと記してみました。

社会委員長 片桐秀人



児童クラブで遊ぶ子供達

経済建設

急速な = 遊休農地対

ことも確認されました。

又、遊休農地の所有者で借り手を求めているケースも多くあります。今後、種々の方法で情報提供していきますので積極的な活用を期待します。

広域農道先線の工事について河野中部地区まで開通した広域農道の先線工事がストップしたままとなっております。この件

について、先般県より担当者が来村されて今後の県通しについて報告があり、農道建設としての事業採択は事実上不可能との説明でした。今後の対策としては、黒谷線の改良を進めて県道と接続する方向、北垣外、松川町境までの県道改良を進める等の方針が提起されています。

経済建設委員長 唐沢啓六

私の一言

今年は、地域の県内産の農産物を100%使って郷土食や特産品を取り入れた献

うのが設けられました。こ

は、地域の県内産の農産物を100%使って郷土食や特産品を取り入れた献

は、地域の県内産の農産物を100%使って郷土食や特産品を取り入れた献

毎年秋になると村の特産品の松茸を使ったご飯が、給食の献立にあがる日があります。子供達ばかりでなく赴任されてこられた先生方の多くがこの日を楽しみにしている」と聞いた事があります。又、地元の梨やりんご、市田柿も献立に入ります。



「地域食材の日」を更に充実して

中宮 武田 篤子



今年度より学校給食に、年三回『地域食材の日』というのが設けられました。これは、地域の県内産の農産物を100%使って郷土食や特産品を取り入れた献立が、給食の献立にあがる日があります。子供達ばかりでなく赴任されてこられた先生方の多くがこの日を楽しみにしている」と聞いた事があります。又、地元の梨やりんご、市田柿も献立に入ります。

立が立てられる日だそうです。子供達に、より新鮮で安全、そしておいしい食材を口にしてもらえ、かつ食と郷土に対して関心をもってもらえる『食教育』の良い機会であると思います。でも残念なのは、県の補助金があるので年三回しかないという事です。せっかくの地産地消の試みができただけです。すから、それを一回でも多く学校給食に取り入れてほしいと切に思います。

シリーズ 私、がんばってます



今回より、毎回ひとりずつ、村内のいろんな分野でがんばっておられる人たちを紹介致します。第一回の今回は、田村にお住いの中原淳さんを取材しました。

中原淳さん(三十五才)は、奥さんと子供さん二人の四人家族。今年四月より愛知県豊田市より豊丘村に移り住んでこられたとの事。農業(特にトマト栽培)に興味があり、飯田市、松川町等いろんな所を捜したが、最終的には農業が出来る土地の確保と、何より住いが一戸建の入手が希望だったので役場や交流センター等に問い合わせた結果タイミンク良く新築に伴う空屋が田村地区に見つかり豊丘村に決めたとの事。

中央保育所の前に五棟のトマトのビニールハウスがあり、取材に伺った九月十九日には、やっと幾つか収穫できる様になったとうれしそうに話された。ハウスを作る時もひとりで悪戦苦闘している、いろんな人たちが心配して多勢応援にかけつけてくれて、「本当にうれしかった」と話してくれた。又、里親制度というのがあり堀越の小椋正敏さんに

お願いし時々、邪魔しては、勉強させてもらっているとの事。「豊丘村へ移り住んだ感想は？」との問いに「近所の人たちにもよくしてもらい温い人情にふれながら、がんばっている。今年初めてなのでトマトの出来は今ひとつでちよつと残念。味には自信があるんだがなあ。」と、慣れない土地での生活の中で希望を持ってがんばろうという決意が伝わってきた。

ようこそ豊丘村へ。これから、がんばって下さい。



トマト栽培に取り組む中原さん

編集後記

▼この不況下の中であって、リストラ、そしてボーナス、給与カット等どんなに多くの労働者が苦しみあえいでいる事か。老後の生活保障の年金もカット、国民ばかりに経済破綻のツケを押しつけてはいないだろうか。国会議員も議員定数さく減の議論を深めるべきであり何より自分たちから給与カットし、けじめを国民に示してもらいたいものだ。十一月九日は、衆議院選挙投票日となり私たち国民の怒りの声を議員の皆さんに何んとして託さなければならぬ。

▼合併問題についての部落ごん談会が十二会場で行われた。本場に「お待たせしました。」と言えるだろう。ごん談会資料にもある様に、合併、自立どちらにも当然メリット、デメリットがある訳で確実に言える事は、どちらの道の先にも厳しい財政運営が待ち構えている事である。村民の中には、合併論議にばかり目と心を奪われる事なく、地に足のついた行政に理事者も、議会もそして職員も取り組みをしてほしいとの強い声もある。今、村民にとって何が求められているのか聞く耳を持ちたい。

- 編集委員長 川野 孝子
- 副委員長 北澤 貢
- 委員 松井・尚子
- 委員 片桐眞理子
- 委員 吉川 玲